

第三次船橋市子供の読書活動推進計画報告書  
(令和3年度)

令和4年10月

船橋市教育委員会  
生涯学習部西図書館

# 目次

1	第三次船橋市子供の読書活動推進計画の概要	
(1)	計画の趣旨	1
(2)	計画の基本方針と方策	1
(3)	計画の体系図	1
(4)	目標とする数値（第三次計画全体で令和7年度の達成を目標とする数値）	1
(5)	計画の期間	2
(6)	計画の対象	2
2	第三次船橋市子供の読書活動推進計画の評価について	2
3	集計結果	3
4	事業評価一覧表	4

# 1 第三次船橋市子供の読書活動推進計画の概要

## (1) 計画の趣旨

本市では、「子どもの読書活動の推進に関する法律」の施行を受け、平成21年4月に「船橋市子どもの読書活動推進計画」を、平成26年4月には「第二次船橋市子供の読書活動推進計画（以下、第二次計画）」を策定し、図書館や学校等において子供が自主的に読書に親しむための機会の提供・充実を図ってきました。

令和元年度からは、第二次計画の成果と課題を踏まえた「第三次船橋市子供の読書活動推進計画（以下、第三次計画）」に基づき、「子供が読書の楽しさに気づき、自ら読書を楽しむことのできる環境づくり」を目的とし、子供が読書習慣を身に付けることができるよう、家庭・地域・学校等が一層力を合わせて読書活動の推進に取り組んでいきます。

## (2) 計画の基本方針と方策

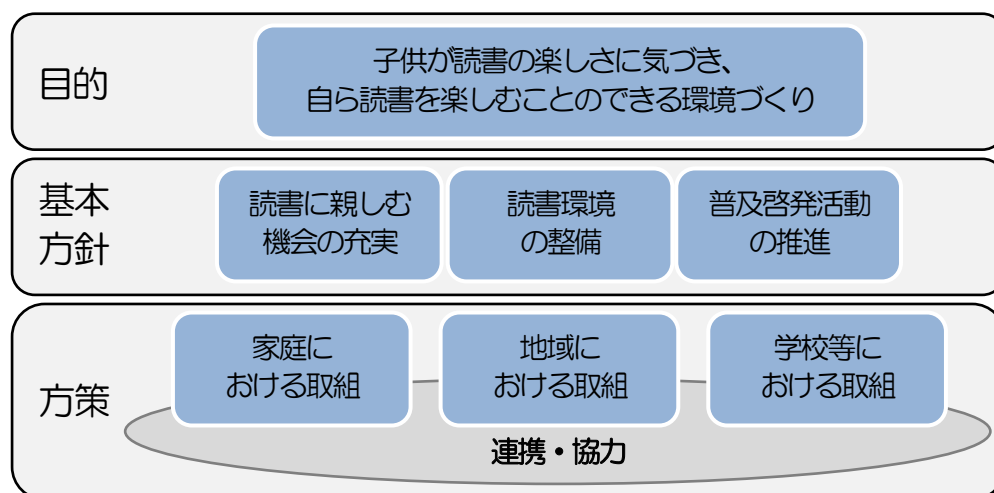
第三次計画の目的を達成するため、次の3つを基本方針とします。

<基本方針>	①読書に親しむ機会の充実 ②読書環境の整備 ③普及啓発活動の推進
--------	--

また、3つの基本方針を推進するため、方策として次の取組を進めます。

<方策>	①家庭における取組 ②地域における取組 ③学校等における取組 【連携・協力】
------	---

## (3) 計画の体系図



## (4) 目標とする数値（第三次計画全体で令和7年度の達成を目標とする数値）

読書が好きな子供の割合	…	小学生	100%	中学生	100%
1か月に読んだ本が0冊の子供の割合	…	小学生	0%	中学生	0%

## (5) 計画の期間

第三次計画の期間は、令和元年度から令和7年度までの7年間です。

ただし、3～4年を目途に計画の達成状況、社会情勢の変化等を踏まえ、必要に応じて内容の見直しを図ります。

## (6) 計画の対象

計画の対象は、おおむね18歳以下の子供とその保護者等（保護者や家族、教職員、ボランティア、行政機関等）です。

## 2 第三次船橋市子供の読書活動推進計画の評価について

第三次計画では、37の事業に取り組むこととしています。本報告書は、令和3年度における各事業の取組実績や課題認識、今後の取組をまとめたものです。

進捗状況は、船橋市図書館協議会において把握し、評価を行います。

### 本報告書の見方

#### ①「基本方針」「方策」「事業No.」「事業名」「事業概要」「施設」「連携先」

→基本方針・方策ごとに、第三次計画で実施するとしている事業の通し番号・名称・概要、取組を行う施設・連携先を記載しています。

#### ②「指標」「計画策定時の現状値（平成29年度）」「直近の実績」「中間目標値（令和4年度）」「目標値（令和7年度）」

→各事業の評価指標・実績の経年変化・計画の中間年度及び最終年度の目標値を記載しています。また、最終年度の目標値に対する進捗率を併記しています。

#### ③「評価」

→目標値（令和7年度）に対する進捗率を以下の評価基準に照らし、評価を付しています。なお、令和3年度時点では目標値が定まらない事業No.12及び25については、後述する「当年度取組」欄に評価の考え方を記しています。

評価	目標値に対する進捗率
達成できた	100%以上
概ね達成できた	80%以上100%未満
あまり達成できていない	60%以上80%未満
達成できていない	60%未満

#### ④「当年度取組」「現状の課題・今後の取組」

→令和3年度における各事業の取組、課題認識と今後の取組を記載しています。

### 3 集計結果

#### 令和3年度の現状に対する評価

基本方針		方策	評価			
			達成 できた	概ね達成 できた	あまり 達成でき ていない	達成でき ていない
1	読書に親しむ 機会の充実	1 家庭における取組		1	1	
		2 地域における取組	1	2	1	5
		3 学校等における取組	1	3	1	
2	読書環境の整 備	2 地域における取組	3			
		3 学校等における取組	2	3	1	3
3	普及啓発活動 の推進	1 家庭における取組	2			2
		2 地域における取組	2		1	
		3 学校等における取組		2		
合計			11	11	5	10
割合			29.7%	29.7%	13.5%	27.1%

## 4 事業評価一覧表

基本方針	方策	事業No.	事業名	事業概要	入力担当課 (公表時は非表示)	施設	連携先	指標	計画策定時の現状値 (平成29年度)	直近の実績			中間目標値 (令和4年度)	目標値 (令和7年度)	評価	当年度取組 (令和3年度)	現状の課題・今後の取組
										令和元年度	令和2年度	令和3年度					
										《目標値に対する進捗率》							
1	1	1	ブックスタート事業 (絵本の配布)	できるだけ早い時期に全ての子どもに「絵本」と出会う機会を作り、親子が触れ合い、語り合い、絆を深めることを目的に、保健センターで行われる4か月児健康相談の機会に絵本を配布する。	地域保健課	保健センター	図書館	絵本配布率	93.0% 《97.9%》	85.6% 《90.1%》	60.6%	77.8% 《81.9%》	94.0% 《98.9%》	95.0%	概ね達成できた	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、4か月児健康相談(集団)での開催は実施せず、各保健センターでの窓口個別相談等に切り替えて案内し、実施した。また、案内時期を生後7か月未満までと延長し、長期里帰り等の方等には赤ちゃん訪問時にも絵本を配布できるよう対応した。	4か月児健康相談(集団)が再開するまでは、個別相談時、ブックスタート事業の目的である生涯を通じて読書を楽しむことができるような声かけを行う。また、生涯学習部、図書館と連携を図り、図書館の活用を促していく。
		2	セカンドブック事業	より多くの本と出会う機会を提供するため、1歳6か月児健康診査を受診した子どもに、図書館で絵本を1冊手渡し、来館やおはなし会への参加を促す。	西図書館	図書館	保健センター	絵本配布率	23.3% 《33.3%》	53.9% 《77.0%》	43.1% 《61.6%》	52.1% 《74.4%》	70.0% 《100.0%》	70.0%	あまり達成できていない	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため来館が難しく絵本を受け取ることができなかった対象者には受取期限の延長を行っている。また、ネットワーク化した飯山満公民館図書コーナー、八木が谷公民館図書コーナー、松が丘公民館図書室で新たに配付を開始したことと、転入者への配付を開始したことで、これまで受け取ることができなかった子ども達にも本との出会いの機会を広げることができ、配付率は上昇傾向にある。	セカンドブック事業の周知を広く行っていくとともに、新型コロナウイルスの影響で絵本を受け取ることが難しい対象者には、引き続き受取期限の延長を検討する。来館者には配付後も図書館等を継続して利用していただけるよう、各種サービスの案内に努める。
3	1	3	公立保育園での保護者への啓発	図書館主催講座のパンフレットやポスターを掲示し、保護者へ情報提供を行う。	公立保育園管理課	公立保育園	図書館	掲示した園数	2園 《7.4%》	27園 (全園) 《100.0%》	26園 《96.3%》	27園 (全園) 《100.0%》	27園 (全園)	27園 (全園)	達成できた	園にポスターを掲示し、保護者への周知を図った。	引き続き取り組んでいく。
		4	児童ホームにおける講座等を通じた保護者への啓発	保護者に子どもへの読み聞かせや読書の重要性を伝えるため、図書館など関係機関と連携して講座を実施する。	地域子育て支援課	児童ホーム	図書館	講座の実施館数	4館 《19.0%》	7館 《33.3%》	1館 《4.8%》	4館 《19.0%》	10館 《47.6%》	21館 (全館)	達成できていない	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和3年8月30日から令和3年9月30日まで休館し、事業を中止した影響もあり、実施できたのが4館のみであったが、昨年度と比較して実施館数は増加した。	今後も感染対策に配慮しながら事業を実施していく。図書館など関係機関と連携し、チラシの配布や来館者への声掛け、市ホームページ等により事業の周知に努める。

基本方針	方策	事業No.	事業名	事業概要	入力担当課 (公表時は非表示)	施設	連携先	指標	計画策定時の 現状値 (平成29年度)	直近の実績			中間目標値 (令和4年度)	目標値 (令和7年度)	評価	当年度取組 (令和3年度)	現状の課題・今後の取組
										令和元年度	令和2年度	令和3年度					
										《目標値に対する進捗率》							
3	1	5	子育て支援センターにおける講座等を通じた保護者への啓発	保護者に子供への読み聞かせや読書の重要性を伝えるため、図書館など関係機関と連携して講座を実施する。	地域子育て支援課	子育て支援センター	図書館	講座の実施施設数	— —	2施設 (全施設) 《100.0%》	0施設 《0.0%》	2施設 (全施設) 《100.0%》	2施設 (全施設) 《100.0%》	2施設 (全施設)	達成できた	南本町子育て支援センター及び高根台子育て支援センターにて講座を実施した。	今後も感染対策に配慮しながら事業を実施していく。図書館など関係機関と連携し、チラシの配布や来館者への声掛け、市ホームページ等により事業の周知に努める。
		6	公民館における講座等を通じた保護者への啓発	保護者に子供への読み聞かせや読書の重要性を伝えるため、図書館など関係機関と連携して読み聞かせのポイントや本の選び方など、本を身近に親しみ、読書の楽しさを伝える講座を実施する。	中央公民館	公民館	図書館	講座の実施館数	7館 《26.9%》	2館 《7.7%》	0館 《0.0%》	4館 《15.4%》	15館 《57.7%》	26館 (全館)	達成できていない	家庭や地域の中で本の読み聞かせの機会を増やすためのボランティアを養成する講座や、読み聞かせの基本・本選び・読み聞かせの実践等を内容とした講座、0~2歳児とその保護者を対象に、北図書館司書を講師として招いた講座も実施した。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、どのように参加者を募集するべきか、募集に苦労した。地域でのニーズを把握し、周知の方法などの工夫をしていく。
1	2	7	保護者や読み聞かせグループ等への啓発	読み聞かせ初心者の方に向け、図書館主催で読み聞かせの方法等についての講座を開催する。	西図書館	図書館	—	講座の実施回数	— —	2回 《25.0%》	1回 《12.5%》	7回 《87.5%》	4回 《50.0%》	8回	概ね達成できた	各図書館で読み聞かせ初心者の方向けに、入門講座や紙芝居講座、わらべうた講座を開催することができた。また、保護者向けの講座についてはオンラインで開催する等、工夫して講座を開催することができた。	今後もオンラインでの開催を検討する等、感染対策に配慮しながら、講座を開催し、目標である回数を実施できるよう工夫していく。
		8	保護者や読み聞かせグループ等への啓発（講師派遣）	読書の重要性や読み聞かせの方法を伝えるため、まちづくり出前講座や各施設の講座に講師派遣を行う。	西図書館	図書館	公民館等	講師派遣回数	6回 《60.0%》	13回 《130.0%》	0回 《0.0%》	1回 《10.0%》	8回 《80.0%》	10回	達成できていない	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、各施設での事業実施が困難な状況にあったが、講師派遣を1回行うことができた。	県立図書館等の研修に参加することで研鑽を積み、読み聞かせグループ等に読書の大切さと絵本を通じたコミュニケーションの大切さを伝えていく。
		9	10代の利用者向け事業の実施	10代の利用者の興味・関心の高い講座等の事業を実施する。	西図書館	図書館	—	10代の利用者向け事業の開催回数	1回 《12.5%》	2回 《25.0%》	0回 《0.0%》	5回 《62.5%》	4回 《50.0%》	8回	あまり達成できていない	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、施設の制限開館や催しの自粛期間もあり、開催回数は少ないが、オンラインでの開催やTwitterを使用した事業の企画を実施するなど工夫して10代向け講座を開催した。	今後も感染対策に配慮しながらオンラインやTwitterを使用した講座・企画等を開催していく。



基本方針	方策	事業No.	事業名	事業概要	入力担当課 (公表時は非表示)	施設	連携先	指標	計画策定時の現状値 (平成29年度)	直近の実績			中間目標値 (令和4年度)	目標値 (令和7年度)	評価	当年度取組 (令和3年度)	現状の課題・今後の取組
										令和元年度	令和2年度	令和3年度					
									《目標値に対する進捗率》								
1		10	YAコーナーを活用した交流の場の提供	10代の利用者によるおすすめ本の紹介コーナーを設置する等、利用者同士が読書を通じて交流していく場を提供する。	西図書館	図書館	—	参加人数	—	104人 《 52.0% 》	160人 《 80.0% 》	277人 《 138.5% 》	50人 《 25.0% 》	200人	達成できた	全館に設置したコミュニケーションボードへ投稿された内容を、HPやTwitterで紹介した。昨年度よりも定着したものとみられ、全館で277人の参加があった。	10代の利用者が気軽に立ち寄れる図書館を目指し、情報発信を行っていく。また、コミュニケーションボードについては、引き続き10代の利用者の興味を引くようなテーマを取り上げていく。
			外国語の図書の充実	日本語以外の言葉を母国語とする子供向けの図書等の充実を図る。	西図書館	図書館	—	外国語の図書の蔵書数	1,529冊 《 76.5% 》	1,816冊 《 90.8% 》	2,030冊 《 101.5% 》	2,104冊 《 105.2% 》	1,700冊 《 85.0% 》	2,000冊	達成できた	英語絵本や、絵図鑑等を購入した。	継続して資料を購入していく。
2	2	12	ハンディキャップサービスの充実	多様な支援を必要とする子供のための図書等(点字絵本・LLブック等)の充実を図る。	西図書館	図書館	—	点字絵本の所蔵状況	有4館 (全館)	有4館 (全館)	有4館 (全館)	有4館 (全館)	—	令和3年度と比較し、各種類の蔵書数を増やす	達成できた	点字絵本の所蔵数は令和2年度が92点、令和3年度が102点、LLブックの所蔵数は令和2年度が78点、令和3年度が101点であり、共に前年度より増加しているため、達成とした。	引き続き資料の収集に努める。
				LLブックの所蔵状況	有2館	有4館 (全館)	有4館 (全館)	有4館 (全館)	有4館 (全館)	—	令和3年度と比較し、各種類の蔵書数を増やす						
3		13	YAだよりの配布	10代の利用者向けに「YAだよりの」等で情報発信を行う。	西図書館	図書館	—	発行回数	1回 《 25.0% 》	6回 《 150.0% 》	9回 《 225.0% 》	10回 《 250.0% 》	4回 《 100.0% 》	4回	達成できた	西図書館・東図書館で合わせて10回、YAだよりを発行した。また、ホームページに「YAだよりの」を掲載し、図書館に来館することが難しい方も閲覧できるようにしている。なお、「YAだよりの」で取り上げた図書については、図書館システムと連動し利用しやすいようにしている。	TwitterやHP、YAだよりを活用し、情報発信を行っていく。
1		14	児童ホームでの読み聞かせ活動の実施	地域の子育て支援の一環として、乳幼児と保護者を対象とした、職員やボランティアによる絵本の読み聞かせ活動を実施する。(全館)	地域子育て支援課	児童ホーム	地域文庫・ボランティア等	読み聞かせ活動の実施回数	1,456回 《 85.6% 》	1,235回 《 72.6% 》	114回 《 6.7% 》	683回 《 40.2% 》	1,600回 《 94.1% 》	1,700回	達成できていない	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和3年8月30日から令和3年9月30日まで休館し、事業を中止した影響となったが、昨年度と比較して実施回数は増加した。	今後も感染対策に配慮しながら事業を実施していく。チラシの配布や来館者への声掛け、市ホームページ等により事業の周知に努める。



基本方針	方策	事業No.	事業名	事業概要	入力担当課 (公表時は非表示)	施設	連携先	指標	計画策定時の 現状値 (平成29年度)	直近の実績			中間目標値 (令和4年度)	目標値 (令和7年度)	評価	当年度取組 (令和3年度)	現状の課題・今後の取組
									令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度					
									《目標値に対する進捗率》								
1	2	15	子育て支援センターでの読み聞かせ活動の実施	地域の子育て支援の一環として、乳幼児と保護者を対象とした、職員やボランティアによる絵本の読み聞かせ活動を実施する。(全センター)	地域子育て支援課	子育て支援センター	地域文庫・ボランティア等	読み聞かせ活動の実施回数	24回 《85.7%》	22回 《78.6%》	8回 《28.6%》	23回 《82.1%》	28回 《100.0%》	28回	概ね達成できた	南本町子育て支援センター及び高根台子育て支援センターにて読み聞かせ活動を実施し、直近の年度と比較して実施回数は増加した。	今後も感染対策に配慮しながら事業を実施していく。 チラシの配布や来館者への声掛け、市ホームページ等により事業の周知に努める。
		16	公民館におけるおはなし会の実施	幼児や児童を対象とした読み聞かせ、わらべうた、手遊び等を行い、読書に興味・関心を持たせたり、読書に親しんだりする機会を提供する。	中央公民館	公民館	地域文庫・ボランティア等	実施館数	13館 《50.0%》	15館 《57.7%》	7館 《26.9%》	12館 《46.2%》	20館 《76.9%》	26館(全館)	達成できていない	テーマを「親子で楽しむ絵本の世界」とし、絵本を通して親子のふれあいの場を作り、家庭での育児のあり方を学習する場とした。 幼児や児童を対象とした絵本の読み聞かせ、おはなし、かみしばい、パネルシアター、てぶくろ人形劇を行い、読書に興味・関心を持たせたり、読書に親しんだりする機会を提供した。 社会教育関係団体による絵本や紙芝居の読み聞かせを実施した。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止した講座があったものの、実施した講座は好評であり、今後も継続して実施していきたい。 参加者数が少ない講座は、募集やお知らせを工夫することが必要である。 図書室に来た小さな子どもを持つ親や、小学生へチラシを渡すなど、出来るだけ多くの方に参加してもらえよう児童ホームや図書室と周知等協力していく。
		17	公民館における読書感想文講座の実施	読書の習慣がない小学生を対象に読書感想文の書き方講座を実施する。	中央公民館	公民館	—	実施館数	3館 《11.5%》	0館 《0.0%》	0館 《0.0%》	8館 《30.8%》	15館 《57.7%》	26館(全館)	達成できていない	「本の出会いと受け取ったもの」、「感想文の組み立てと書き方」、「感想文の見直しと清書」を内容とし、本の選び方や読書感想文の書き方のポイントを学び、読書の楽しさを知るとともに、文章表現力を養う講座を開催した。 小学校3・4年生を対象に、夏休み期間中3回の学級講座として開催したのものもある。	参加児童やその保護者からは非常に好評であったため、今後も継続していきたい。 読書感想文の清書を講座期間中に終える参加者を増やすことが課題であるため実施方法の見直しを進めていきたい。 また、館によっては募集締め切り後に参加希望の問い合わせが数件あったことから、令和4年度は実施回数の拡充を検討していく。
		18	講座等を通じた子供が本に触れる機会の提供	公民館で行われる子供や親子向けの講座等において、講座に関連した図書を紹介し、遊ぶ・作るなどの体験と読書を結び付け、読書の楽しさや関心を持つ機会を提供する。	中央公民館	公民館	図書館	実施館数	— —	3館 《11.5%》	0館 《0.0%》	0館 《0.0%》	15館 《57.7%》	26館(全館)	達成できていない	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、講座を実施できない期間があったことから、実施した公民館がなかった。	今後も子供や親子向けの講座等で機会を捉え感染対策に配慮しながら実施の検討を行いたい。

基本方針	方策	事業No.	事業名	事業概要	入力担当課 (公表時は非表示)	施設	連携先	指標	計画策定時の 現状値 (平成29年度)	直近の実績			中間目標値 (令和4年度)	目標値 (令和7年度)	評価	当年度取組 (令和3年度)	現状の課題・今後の取組
										令和元年度	令和2年度	令和3年度					
										《目標値に対する進捗率》							
2	19	放課後ルームの 図書を購入	図書館の団体貸出を 利用しているもの の、蔵書数が少ない との声があるため、 新たに図書を購入し、 蔵書の充実を図る。	地域子育て 支援課	放課後 ルーム	—	新たに図 書を購入 する冊数	—	842冊 《42.1%》	1,268冊 《63.4%》	2,133冊 《106.7%》	900冊 《45.0%》	2,000冊	達成 できた	図書の購入を進めた。	今後も引き続き図書の購 入を継続する。	
		児童ホームでの 「子ども読書の日」 等にちなんだ普及啓発の推 進	「子ども読書の日」 や「こどもの読書週 間」に合わせ、本に 関連した事業の実施 を図る。	地域子育て 支援課	児童ホー ム	—	読み聞か せ活動等 の実施館 数	7館 《33.3%》	18館 《85.7%》	0館 《0.0%》	15館 《71.4%》	10館 《47.6%》	21館 (全館)	あまり 達成でき ていない	読書週間中の読み聞かせ 活動などを約7割の施設 で実施できた。	今後も感染対策に配慮し ながら事業を実施してい く。 チラシの配布や来館者へ の声掛け、市ホームページ 等により事業の周知に 努める。	
3	20	子育て支援セン ターでの「子ど も読書の日」等 にちなんだ普及 啓発の推進	「子ども読書の日」 や「こどもの読書週 間」に合わせ本に関 連した事業の実施を 図る。	地域子育て 支援課	子育て支 援セン ター	—	読み聞か せ活動等 の実施施 設数	2施設 (全施設) 《100.0%》	2施設 (全施設) 《100.0%》	0施設 《0.0%》	2施設 (全施設) 《100.0%》	2施設 (全施設) 《100.0%》	2施設 (全施設)	達成 できた	南本町子育て支援セン ター及び高根台子育て支 援センターにて講座を実 施した。	今後も感染対策に配慮し ながら事業を実施してい く。 チラシの配布や来館者へ の声掛け、市ホームペー ジ等により事業の周知に 努める。	
		公立保育園職員 の絵本に関する 技術向上	職員の技術向上のた め、図書館職員によ る絵本やお話の講座 に参加する。	公立保育 園管理課	公立保育 園	図書館	参加園数	—	6園 《22.2%》	0園 《0.0%》	0園 《0.0%》	8園 《29.6%》	27園 (全園)	達成でき ていない	新型コロナウイルス感染 症拡大防止のため、参加 することが出来なかつ た。	感染対策に配慮しなが ら、参加を検討してい く。	
1	3	23	学校図書館運営 計画の作成	読書年間指導計画や 学校図書館運営計画 を作成し、図書主任 を中心として、全教 職員が共通理解のも と連携・協力して児 童生徒の読書指導を 進める。	指導課	小・中・特 別支援学 校	—	学校図書 館運営計 画を作成 している 学校数	82校 (全校) 《100.0%》	82校 (全校) 《100.0%》	82校 (全校) 《100.0%》	83校 (全校) 《101.2%》	82校 (全校) 《100.0%》	達成 できた	※塚田南小学 校がR3に新設 されたため、 83校で全校と なる。目標値 はR5に行う計 画の見直しに て修正する予 定。	各学校に学校図書館の年 間学習計画の作成を啓発 した。	令和4年の5月に開催し た図書主任研修会で、年 間学習計画に情報活用の 指導計画も記載するよう 各校に指導した。 読書センター・学習セン ター・情報センターとし ての学校図書館活用全体 計画の作成を今後も啓発 していく。

基本方針	方策	事業No.	事業名	事業概要	入力担当課 (公表時は非表示)	施設	連携先	指標	計画策定時の 現状値 (平成29年度)	直近の実績			中間目標値 (令和4年度)	目標値 (令和7年度)	評価	当年度取組 (令和3年度)	現状の課題・今後の取組
										令和元年度	令和2年度	令和3年度					
										《目標値に対する進捗率》							
1	3	24	「朝読書」や「読み聞かせ」等の実施	読書習慣を身に付けさせるため「朝読書」や「読み聞かせ」等を、各学校の実情に合わせて取り組む。	指導課	小・中・特別支援学校	—	朝読書、読み聞かせ等を実施している学校数	82校 (全校)	82校 (全校)	70校	77校	82校 (全校)	82校 (全校)	概ね達成できた	例年全校が取り組んでいる活動であるが、今年度は100%を達成することができなかった。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、活動を控えている学校があった。令和4年度は、実施予定の学校が増えているため、実情に合わせた取り組みを推進していく。
		25	読書習慣の形成	卒業までに一定量の読書を推奨する等、学校や家庭における読書習慣が身に付くよう促す。	指導課	小・中学校	—	児童生徒総貸出冊数	3,689,527冊 ※目標冊数 3,600,000冊	3,746,525冊 ※目標冊数 4,000,000冊	3,402,300冊 ※目標冊数 4,000,000冊	3,731,833冊 ※目標冊数 4,000,000冊	※「船橋市国語力向上推進委員会」が設定する目標冊数	※「船橋市国語力向上推進委員会」が設定する目標冊数	概ね達成できた	貸出総数は休業期間のあった令和2年度よりも、33万冊ほど増加した。新型コロナウイルス感染症の影響は依然としてあるが、回復傾向が見られる。	令和4年度も400万冊を目標に読書量の向上を啓発していく。
		26	読書意欲を高める取組の実施	ポップづくりやブックトーク、ピブリオバトル等、児童生徒が相互に図書を紹介する活動や、読書意欲を高める取組を行う。	指導課	小・中学校	—	取組を実施している学校数	80校	81校 (全校)	80校	80校	81校 (全校)	81校 (全校)	概ね達成できた	コロナ禍においても読書意欲向上を目指し、各校が積極的に取り組んでいた。	研修会や要請訪問等を通して、読書を積極的に取り入れた国語科学習を実施するよう啓発していく。
		27	大穴小学校市民図書室おはなし会の実施	地域のボランティア団体と連携し、市民図書室内で絵本の読み聞かせ等を行うおはなし会を実施する。	教育総務課 西図書館	市民図書室	ボランティア	おはなし会の延実施回数	44回	53回	53回	56回	64回	84回	あまり達成できていない	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、当初4回開催する予定だったが、1回中止となった。	今後も感染対策に配慮しながら実施していく。
2		28	学校図書館の蔵書の管理	定期的に蔵書点検を行い、新しい本と使用に耐えない本との入れ替えを図りながら、「学校図書館図書標準」(文部科学省)で定める基準冊数を維持できるように学校図書館の蔵書を管理する。	指導課	小・中・特別支援学校	—	「学校図書館図書標準」基準冊数を達成している学校数	82校 (全校)	81校	82校 (全校)	83校 (全校)	82校 (全校)	82校 (全校)	達成できた	令和3年度、全ての小中特別支援学校で学校図書館図書標準を達成することができた。	令和4年度は蔵書100%を維持するための政策予算が配当されなかったため、100%を切ることがないように廃棄冊数を管理し、学校図書標準の維持に努める。



基本方針	方策	事業No.	事業名	事業概要	入力担当課 (公表時は非表示)	施設	連携先	指標	計画策定時の現状値 (平成29年度)	直近の実績			中間目標値 (令和4年度)	目標値 (令和7年度)	評価	当年度取組 (令和3年度)	現状の課題・今後の取組
									令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度					
									《目標値に対する進捗率》								
2	3	29	学校図書館資料の充実	子供たちが幅広いジャンルから本を選び、多くの図書に触れる機会がもてるよう、図書主任や司書教諭、学校司書を中心に学校図書館資料の充実を図る。	指導課	小・中・特別支援学校	—	図書選定委員を組織している学校数	72校 《 87.8% 》	49校 《 59.8% 》	43校 《 52.4% 》	49校 《 59.8% 》	82校(全校) 《 100.0% 》	82校(全校)	達成できていない	選書・廃棄の図書の選定が、学校司書に任せられ、図書主任等には報告だけになっている実態がある。	図書の選書や廃棄を管理職を含めた組織的に行うよう、研修会等を通して、今後も啓発していく。
		30	特設コーナーの設置	総合的な学習の時間や教科等の授業で学んでいる内容の本や、季節ごとの行事に関する本などを集めた「特設コーナー」の設置を行う。	指導課	小・中・特別支援学校	—	特設コーナーを設置している学校数	75校 《 91.5% 》	80校 《 97.6% 》	79校 《 96.3% 》	82校 《 100.0% 》	82校(全校) 《 100.0% 》	※塚田南小学校がR3に新設されたため、83校で全校となる。目標値はR5に行う計画の見直しにて修正する予定。	概ね達成できた	ほぼ全小中特別支援学校の学校図書館で、学校司書が創意工夫した特設コーナーが設置されている。	他校の学校図書館を見学する研修を行い、各校のアイデアを共有できるようにする。
		31	障害のある児童生徒への読書環境の整備	LLブックや点字本等、発達に応じた図書資料の整備を行う。	指導課	小・中・特別支援学校	—	発達に応じた図書資料を所蔵している学校数	72校 《 87.8% 》	71校 《 86.6% 》	68校 《 82.9% 》	72校 《 87.8% 》	82校(全校) 《 100.0% 》	82校(全校)	概ね達成できた	障害のある児童生徒が在籍するか否かで、発達に応じた図書資料の整備状況が異なっている。	引き続き、各学校に障害者の読書環境整備を啓発していく。
		32	図書物流の活用	図書館と学校図書館、各学校図書館の間で、図書相互貸借のための図書物流の活用を図るとともに、図書館と学校図書館の横断検索等により、図書館活用の幅を広げる。	指導課	小・中・特別支援学校	図書館	図書物流を利用した学校数	82校(全校) 《 100.0% 》	82校(全校) 《 100.0% 》	82校(全校) 《 100.0% 》	83校(全校) 《 101.2% 》	82校(全校) 《 100.0% 》	82校(全校)	※塚田南小学校がR3に新設されたため、83校で全校となる。目標値はR5に行う計画の見直しにて修正する予定。	達成できた	令和3年度は全小中特別支援学校が図書物流を利用することができた。総物流件数は19,057件だった。目標は25,000件だったが、新型コロナウイルス感染症による影響で達成することはできなかった。
33	33	図書主任、学校司書の資質向上	児童生徒の自主的な読書活動を推進していくために、図書主任、学校司書の研修の機会を設け、教職員等の資質向上に努める。	指導課	小・中・特別支援学校	—	図書主任の研修会の件数	3件 《 100.0% 》	3件 《 100.0% 》	2件 《 66.7% 》	3件 《 100.0% 》	3件 《 100.0% 》	3件	概ね達成できた	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、1回の研修会を中止したが、オンライン型に切り替えることで、実施できた研修会もあった。2月の研修会は、講師を招きICTを活用した学校図書館の役割について講演を行った。	令和4年度は、昨年度実施ができなかった他校の学校図書館見学を実施するなど、情報共有の場を充実させる。また、外部講師を招いた研修会を企画し、学校司書・図書主任等の資質向上を図る。	
							学校司書の研修会の件数	4件 《 100.0% 》	4件 《 100.0% 》	2件 《 50.0% 》	3件 《 75.0% 》	4件 《 100.0% 》	4件				
							内、合同研修	小中各1件 《 100.0% 》	小中各1件 《 100.0% 》	小中各1件 《 100.0% 》	小中各1件 《 100.0% 》	小中各1件 《 100.0% 》	小中各1件				

基本方針	方策	事業No.	事業名	事業概要	入力担当課 (公表時は非表示)	施設	連携先	指標	計画策定時の 現状値 (平成29年度)	直近の実績			中間目標値 (令和4年度)	目標値 (令和7年度)	評価	当年度取組 (令和3年度)	現状の課題・今後の取組
										令和元年度	令和2年度	令和3年度					
										《目標値に対する進捗率》							
2	3	34	ボランティアとの連携	ボランティアとの連携を図り、学校図書館の環境づくりや児童生徒への読み聞かせ等を行う。	指導課	小・中学校	地域文庫・ボランティア等	ボランティアを導入している学校数	47校 《58.0%》	47校 《58.0%》	35校 《43.2%》	30校 《37.0%》	81校 (全校) 《100.0%》	81校 (全校)	達成できていない	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、外部人材を招くことを控えた学校が多かったため、令和2年度よりもボランティアが導入されなかった。	令和4年度は、実施を予定している学校が多いため、実情に合わせた取り組みを推進していく。
		35	市民図書室の蔵書の充実	地域住民の生涯学習の振興に資するため、市民図書室の蔵書の充実を図る。	教育総務課 西図書館	市民図書室	—	全体の蔵書数	35,036冊 《96.8%》	35,317冊 《97.6%》	24,405冊 《67.4%》	25,670冊 《70.9%》	35,600冊 《98.3%》	36,200冊	あまり達成できていない	大穴小学校市民図書室は、令和2年度に所管を西図書館に移管した際、図書の整備を行ったことから蔵書数が減少したが、市民からのリクエストを中心に新たに資料を購入した。 高根小学校市民図書室は、定期的な図書の購入により、継続して蔵書の充実を図った。	大穴小学校・高根小学校市民図書室ともに、今後も継続して蔵書の充実を図っていく。
3	3	36	「子ども読書の日」等における啓発	「子ども読書の日」や「読書週間」に関連した取組を行う。	指導課	小・中学校	—	取組を実施している学校数	77校 《95.1%》	75校 《92.6%》	75校 《92.6%》	79校 《97.5%》	81校 (全校) 《100.0%》	81校 (全校)	概ね達成できた	小学校は53校、中学校では26校で、読書祭り等の活動を実施した。令和2年度よりも4校増え、読書意欲を高める活動への意識が高まっている。	感染対策のため、活動を控えている場合もあるため、各校の実情に合わせた方法を推進していく。
		37	図書館便り・学校ホームページ等による情報の発信	学校便りや図書館便り、学校ホームページ等で図書に関する情報を発信する。	指導課	小・中・特別支援学校	—	情報を発信している学校数	80校 《97.6%》	79校 《96.3%》	80校 《97.6%》	82校 《100.0%》	82校 (全校) 《100.0%》	82校 (全校)	概ね達成できた	※塚田南小学校がR3に新設されたため、83校で全校となる。目標値はR5に行う計画の見直しにて修正する予定。	小学校1校を除き、図書館だより等を発行し、情報発信を行っている。 残り1校にも図書館だより等を発行するよう働きかけていく。